

令和2年度

社会福祉法人恵正福祉会
とうかいどう保育園

事業計画

社会福祉法人恵正福社会の保育所として

社会福祉法人恵正福社会の理念「すべての人とともに歩む」「安心と信頼」「笑顔とチームワーク」に基づき地域から必要とされ、役立つ施設運営を目指します。

また基本方針は、わたしたちは、サービス業のプロとして正しい情報を伝達し、研修で得た福祉サービスの提供改善に努めます。常に利用者中心のサービスを心がけ、子どもの最善の利益と子どもの福祉の増進を図り、保護者の育児と仕事の両立と家庭を支援し安心と信頼を得られる質の高い保育を目指します。

そのために、衛生、安全、健康環境に気を配り心身の健康基礎を築きます。運営にあたっては、区、関連機関との連携を図りより地域の現状を理解していくことが必要と考えます。

私たちの価値観

- ① 児童の権利条約の精神、乳幼児も独立した人格、権利の主体として接していく。
また、保育についても、児童の最善の利益を追求するということに立脚し、いかなる状況にあっても暴言、体罰、無視、放置などの虐待は認めない。また、それを見聞きした時は、関係機関への通報し、適切な対応を速やかに行う。乳幼児でも、その性は尊重されるべきこととしてとらえ、時代の流れの中で、どうあるべきか、考え続けていく。
- ② 一人ひとりの発達に沿った成長を保証する環境作りと関わり方を研究する。
- ③ 保護者の就労支援と子育て支援をする。
- ④ 地域の子育て家庭の支援、子どもの福祉向上に努めていく。

保育所運営の理念・基本方針

保育の理念：子どもの最善の利益と権利を守る

保育園は皆さんの大切なお子さんをあずかり、児童福祉法に基づいて養護、教育する施設であります。園では子どもたち一人ひとりの健やかな発達に心を配り、楽しい園生活づくりを大切に、また保護者の方が安心して働くことが出来るように責任を持って保育を致します。

保育方針：命を守り丈夫な体と豊かな感性を育てる。

各年齢の発達段階に応じた保育内容の計画をたて、それに基づき日々の援助を行い、園での生活を楽しく過ごせるように考えていきます。

また、地域の人々の必要に応じた、役立つ保育園と致します。

保育目標

1. よく遊び、よく食べ、よく眠り、心も身体も元気な子。
2. 人や物や自然とのかかわりの中で、優しさや思いやりを持てる子。
3. 社会生活の決まりを理解し、考え、行動できる子。

保育の専門性

- 職員の専門的知識、人間性を高め、利用者と職員とのコミュニケーションを通して相互理解を深めます。
- 地域の医療機関、児童相談所、子育て支援機関と更なる連携を図ります。
- 児童センター、出張所等に毎月保育園紹介のパンフレットを置かせてもらい地域交流の推進に努めます。
- とうかいどう保育園マニュアルによる質の高い保育サービスの維持を図ります。
- 自然と親しむ保育や環境設定を通して、子どもたちの感性を育てます。
- 人と人の触れ合いの中で、親しみを持って挨拶できる環境をつくります。
- 利用者の皆様の要望や、ご意見は財産としてしっかり受け止めて対応します。
- 食育活動として、食物への興味・関心を育て意欲的に食に興味を持てるようにしていきます。
- 地域の子育て支援では、カンガルーひろば、保育士体験、給食体験、子育て相談を行い月曜日から金曜日まで保育園の一部を開放し、子育て家庭を支援します。

以上の活動を通して、地域住民、保護者との強い信頼関係を築き、利用しやすい保育園運営を目指します。

クラス目標

クラス名	目 標
0 歳	・一人ひとりの子どもが快適に過ごし、安定した生活リズムで気持ちよく過ごす。保育者に欲求を受け止めてもらい、安心感をもつ。
1 歳	・保育者に親しみをもち、保育者との触れ合いを通して好きな遊びを見つけて遊ぶ。戸外での時間を多く持ち、季節の自然に触れのびのびと過ごす。
2 歳	・友だちや保育者と親しみを持つ。戸外遊びを通して、体を動かすことを楽しむ。・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
3 歳	・基本的な生活習慣を身につける。簡単な集団あそびや、ごっこあそびを通して、ルールを覚え、友だちとのかかわりを楽しむ。季節ならではの動植物に興味、関心をもってかかわり、季節の移り変わりを感じる。

4 歳	・生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。自分の好きな遊具や遊びを見つけ、保育者や友だちと触れ合って遊ぶ楽しさを味わう。
5 歳	・生活の仕方を考えながら自ら進んで行う。友だちと思いを伝え合いながらかわり、友だちの存在を身近に感じる。

食育の目標

- 自我の芽生えを大切にし、食べる意欲を育てる
- 食べ方や食事のマナーを身につける
- 食べ物と体の関係に関心を持つ

食育指導

- 楽しい雰囲気の中で言葉がけをしながら、安心して食べられるような雰囲気を作る。
- 正しくスプーン、箸、食器が持てているかを一人ひとり見ていき。姿勢よく食べるよう促していく。
- 料理を作ってくれる人、食材を運ぶ人、食材を作っている人、食材になっている動植物への感謝、命の大切さ、命のつながりの話をする

年間保健目標

- 生活のリズムを整え、基本的な生活習慣を身につける。
- 一人ひとりの発達と個性を大切にし、心身の健康な発達を手助けする。

年間保健計画

- 園児の健康状態の把握に努めると共に、保護者との連携を図り、異常の早期発見・的確な処置と予防に努める。
- 職員の健康状態を把握し、異常の早期発見と早期対応、予防に努める。また、健康の維持増進を図る。
- 職員・保護者に対し、怪我や病気の知識の普及と啓蒙を図る。

健康管理実施計画

- 年二回の全園児健康診断及び月一回の0歳児健康診断
- 毎月の上旬に身体測定の実施
- インフルエンザ予防接種の励行
- 熱中症対策の説明（水分補給の重要性）
- 職員の健康診断の実施及び月一回の腸内細菌検査

年間行事予定表 * 行事計画の担当は作業を全体で振り分けること

実施月	名 称	目 的	担当者
4月1日(水)	※入園式、進級祝い会	新入園児や職員を歓迎し、進級と出会いを喜び合う。	
5月1日(金)	子どもの日の会	子どもの健やかな成長発達を願う意味を伝え、楽しい時間を過ごす。	
6月5日(金)	お祭りごっこ	神輿を担いで地域を練り歩き、地域と交流する。	
7月1日(水)～8月31日(月)	水遊び プール開き・納め	水に親しみ、夏ならではの遊びを楽しむ。	
7月7日(火)	七夕会	伝統行事に触れ、興味や関心を育てる。	
7月16日(木)	お店屋さんごっこ	友だちと協力して製作し、役割を持ってごっこ遊びを楽しむ。	
7月17日(金)	※夕涼み会	親子で、夏祭りの雰囲気味わう。	
9月18日(金)	※敬老会	祖父母の方と触れ合い、楽しいひと時を過ごす。	
10月3日(土)	※親子で遊ぼう会(運動会)	運動面の遊びを通して親子で楽しみ成長を喜び合う。	
10月31日(水)	ハロウィーン	仮装を楽しみ地域と交流する。	
12月12日(土)	※お楽しみ会	表現遊びを通して成長を喜び合う。	
12月25日(金)	ウィンターパーティー	園児と職員で楽しいひと時を過ごす。	
2月3日(水)	節分	伝統行事に触れ、豆まきを楽しむ。	
3月3日(水)	ひな祭り会	伝統行事に触れ、成長を喜び合う。	
3月18日(木)	お別れ会	在園児・職員で卒園児を祝う。	
3月19日(金)	※就学祝い会	就学の喜びを祝う。	

※印の行事は保護者の参加を予定しています。

- 日本の伝統文化、行事に親しみ情操豊かな子どもの育成に役立て、子どもたちが楽しんで参加できる企画を行う。
- 地域の小学校の協力を得て、小学校交流を行う。
- 福栄会・ちびっ子タイム品川との交流を定期的に行う。
- 避難訓練は毎月実施し、起震車体験、煙体験も企画する。
- 保護者や職員の協力による「なまはげ」や「力士」との交流なども企画する。
- 毎月誕生会を実施し、誕生月の子が喜びあえるようにする。

クラス遠足 *各年齢に適した目的・行先を設定し、遠足を計画する

クラス	遠足名/時期/場所	予 算
うさぎ組 3歳児	春の遠足：5月：海上公園	
	お別れ遠足：3月：しながわ中央公園	
こぐま組 4歳児	春の遠足：5月：鮫洲公園	
	秋の遠足：11月：品川水族館	交通費、入館料など
	お別れ遠足：3月：しながわ中央公園	
ぞう組 5歳児	春の遠足：5月：品川水族館	交通費、入館料など
	芋ほり遠足：11月：恵正福祉会本部	バス代など
	クラス遠足：2月：上野動物園	交通費、入館料など
	お別れ遠足：3月：しながわ中央公園	

- 3歳児組、4歳児組、5歳児組は徒歩で「お弁当遠足」を実施する。
- 4歳児組、5歳児組は交通機関を使った「園外保育」を実施する。

クッキング保育

実施月	クラス	目 的
6月	3・4・5歳児	自分で作ったおにぎりを味わう。
2月	3・4・5歳児	感謝をこめてバレンタインクッキーを作る。
3月	3・4・5歳児	感謝をこめてホワイトデークッキーを作る。

- 季節にあった野菜の皮むきなども実施する。
- 恵方巻などの行事に合わせたクッキングも体験できるように企画する。
- クラスのプランターで育てた野菜を収穫し、味わえるような企画も行う。

教室活動

教室	講師	月/回数	クラス	備考
英語教室	ブリタニカ ジャパン	月3回水曜	3・4・5歳児・地域	4・12・1月は2回
体操教室	藤井 祐	月2回月曜	3・4・5歳児・地域	
音楽リズム	高橋美紀子	月4回火曜	3・4・5歳児・地域	
リトミック	杉山千代美	月1回金曜	1・2歳児・地域	
茶道教室	石田 郁子	月1回水曜	5歳児	
けん玉教室	吉本 秀一	年4回	5歳児・保護者	3ヶ月に1回実施

- 東京学芸大学のプロジェクトの一環で、5歳児の読み書き教室を月3回実施。

令和2年度 とうかいどう保育園 役割分担と仕事内容

職員構成

- 園長 1名
- 保育士（常勤）17名
- 保育士（非常勤）8名
- 看護師 1名
- 保育補助 4名
- 事務員 2名
- 嘱託医 1名、歯科検診医 1名、眼科検診医 1名
- 給食業者は日京クリエイトに業務委託（栄養士 1名、調理師 2~3名）

クラス編成

クラス名	園児数	職員配置
0歳 ひよこ組	12	保育士 4、看護師 1
1歳 ペんぎん組	18	保育士 4
2歳 あひる組	18	保育士 3
3歳 うさぎ組	18	保育士 2
4歳 こぐま組	18	保育士 1
5歳 ぞう組	18	保育士 1
地域子育て支援		保育士 1

係

係名	仕事内容	担当者
物品管理係	事務消耗品、保育消耗品および教材発注・管理 環境消耗品および環境備品発注・管理	
環境整備係	壊れた玩具や汚れた絨毯、切れた電球などの環境整備	
食育係	食に関わる年間計画の立案、保育への取り入れ 給食業者との打ち合わせ	
絵本係	図書カードの作成、絵本の整理・管理	
防災担当	避難訓練計画及び防災用品の発注・管理	

職員会議等

- 全体職員会議（年3回）
- 職員会議・幼児会議・乳児会議（月1回）
- クラス会議（月1回）
- カリキュラム会議（月1回）
- 運営会議（月2回）
- 事業部連絡会（月1回）

委員会

委員会名	仕事内容	担当者
危機管理委員会	・ヒヤリハット、怪我、事故の分析・再発防止案 ・危機管理マニュアルの更新および修正等	
苦情解決委員会	・苦情や要望の分析と業務改善 ・第三者委員との意見交換	
保健衛生委員会	・保健衛生に関わる業務の標準化 ・職員への啓発。職員のメンタルケア	
給食委員会	・食育の計画、給食委託業者との連携	
広報委員会	・ホームページやパンフレットの検討	

研修計画

実施月	研修内容	目的	講師
4月	初任者研修	新入職員が法人の職員としての在り方について学ぶ	
6月	救命技能研修	AEDや応急処置の研修	
10月	防犯研修	警察官より防犯の指導をして頂く	
11月	嘔吐処理研修	嘔吐物の処理、対応の研修	
随時	保育研修	保育の実技にかかわる研修	

- キャリアアップ研修への参加を積極的に行う。
- 外部研修への参加だけでなく、講師を招いたスキルアップを図る。
- 保育する上で気付いたことを内部研修として取り入れる。

防災対策

- 毎月一度必ず避難訓練および消化訓練を実施する。
- 消防計画及び年度防災訓練計画に沿って立案し、消防署所定の様式にて消防署に届け出し実施する。
- 実施後必ず反省を行い所定の記録に記載する。
- 非常食、飲料水については1人3日分備蓄する。
- 関係機関と協力し、煙体験や起震車体験、防災館への見学なども実施する。
- ウェルキッズによる、携帯メール受信で保護者へ一斉連絡する。

年間防災訓練予定表 詳細はその都度検討

実施月	想定	訓練内容	担当
4月20日(月)	地震	非常時の合図を知る。 ※室内階段避難	
5月20日(水)	火災	火災の際の避難方法を知る。 ※室内階段避難	
6月19日(金)	地震	避難場所への避難方法知る。	
7月20日(月)	地震	午睡時の避難の方法を知る。	
8月20日(木)	火災1階 調理室	避難場所への避難の仕方を知る。	
9月1日(火)	地震・火災 引渡し訓練	地震による火災発生時の避難方法を知る。	
10月20日(火)	水害	・落雷、台風、大雨による水害時の避難の仕方を知る ・停電時の合図の音や指示を聞く	
11月20日(金)	火災給食室	避難場所への避難の仕方を知る。	
12月21日(月)	地震 事務室	他の保育者と一緒に避難する	
1月20日(水)	火災	避難行動の慣れによる油断のないように避難をする。	
2月19日(金)	地震	食事の時間でも手を止めて避難に移る。	
3月22日(月)	火災	避難行動を各自しっかりと身につける。	

- ・職員は普通救命講習、自衛消防資格、防火管理者資格など研修として取得する。

保護者との連携

- 子どもの体調を把握するため0歳児組、1歳児組は体温を測り、トイレを済ませてから保育士に引き渡し、併せてオムツの確認をお願いする。
- 0.1.2歳児クラスは連絡帳を活用し、3.4.5歳児クラスはホワイトボードで日々の様子を掲示する。
- 日々の連絡事項は各クラスの伝達簿を用い、保護者に確実に情報を伝え、安心頂けるようにする。
- 月の指導計画、週案、その日の活動をクラス掲示板で知らせる。
- 給食サンプルは「食」への関心を高める手段としてその日のメニューを展示する。
- 園だより、給食だより、保健だよりは毎月1回月初めに発行し、保育園全体のことを伝える。
- 保護者会は年2回（4月、2月）開催し、各クラスの保育内容、子どもの姿等意見交流を図る。

地域社会との交流

- 神輿担ぎや町内のゴミ拾いなどで地域との交流を図る。
- 福栄会・ちびっ子タイム品川との交流を定期的に行う。
- 地域の保育園交流や、小、中、高、大学の職場体験及び保育実習生を受入れる。

地域子育て支援

- 地域子育て支援の一環として、保育室の一部をかんがる一広場として開放する。
- かんがる一広場において子育て相談事業を行う。
- 教室活動を地域の方にも参加できるように受け入れを行う。

施設の維持管理

（予算書を参照）

- 備品、消耗品については全体を四半期に分けて、必要に応じて購入する。